

第 6 講座 江戸時代後期

1 江戸時代後期の流れ 次の年表の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

年代	おもなできごと
1716年	8代将軍〔①〕が享保の改革を始める→目安箱の設置など
1719年	長州藩に、武士の学校である〔②〕がつくられる
1772年	〔③〕が老中となる→積極的な経済政策
1774年	前野良沢や〔④〕の翻訳した「解体新書」が出版される→〔⑤〕の基礎
1782年	天明のききんがおこる→〔⑥〕や打ちこわしが多発する
1787年	老中〔⑦〕が寛政の改革を始める→幕府政治の引きしめ→失敗
1798年	〔⑧〕が「古事記伝」を完成
1800年	〔⑨〕が西洋の測量術を取り入れて、全国の測量を開始する
1808年	間宮林蔵が蝦夷地や〔⑩〕を探検する
1825年	幕府が外国船を撃退するため、〔⑪〕を出す
1837年	〔⑫〕が大坂で乱をおこす
1839年	幕府の〔⑬〕の政策を批判する書物を書いた〔⑭〕や渡辺崋山がとらえられる
1841年	老中〔⑮〕が天保の改革を始める

2 享保の改革 次の文中の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

- 将軍徳川吉宗は、幕府政治を立て直すため、〔 〕の改革を始めた。〔 〕
- 徳川吉宗は、人々の意見を政治に反映させるため、役所の前に〔 〕を設けた。〔 〕
- 徳川吉宗は、まちまちだった裁判の判決に基準を設けるために、〔 〕という法令をまとめた。〔 〕
- 徳川吉宗は、幕府の収入を増やすため、〔 〕を開発するようにさかんに奨励した。また、年貢率を引き上げた。〔 〕
- 徳川吉宗は、各地の大名を1年おきに江戸と領地に住ませる、参勤交代の制度をゆるめた。そのかわり、幕府に米を献上させることとした。この政策を〔 〕の制という。〔 〕
- 徳川吉宗の政治では百姓の負担が大きくなったため、吉宗の政治の後半には、百姓が年貢の軽減や不正な代官の交代を求めておこす〔 〕が各地で増加した。〔 〕

3 田沼の政治 次の問いに答えなさい。

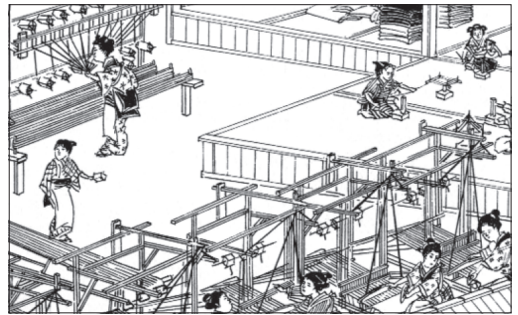
- 18世紀後半、老中となって、商工業を活用して幕府の財政を立て直そうとした人物はだれか。〔 〕
- (1)が収入を増やすために積極的に奨励した、商工業者の同業者組合を何というか。〔 〕
- (1)は長崎貿易で金銀を輸入するために、輸出を奨励した。幕府がおもに奨励した輸出品は、銅と何か。〔 〕
- 天明のききんのあと江戸や大阪で大規模におこった、都市の貧しい人々が米の値段をつりあげる商人をおそったできごとを何というか。〔 〕

4 寛政の改革 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 老中となった松平定信は、□の改革を始め、^{けんやく} 倹約を進めた。 []
- (2) 松平定信は、^{きょうさく} 凶作やきさんの対策として、農村に倉を設けて、一定の量の□をたくわえさせることを義務づけた。 []
- (3) 松平定信は、生活が苦しくなった将軍の家臣である^{はたもと} 旗本や^{ごけいん} 御家人を救うために、□を^{ちやうけ} 帳消しにする法令を出した。 []
- (4) 松平定信は、人材を育成するために^{しやうへいざか} 昌平坂学問所をつくり、^{じゆがく} 儒学の一派である□を学ばせた。 []

5 社会の変化と諸藩の改革 次の問いに答えなさい。

- (1) 都市の貧しい人々がおこした打ちこわしは、おもに何を買い占めた商人に対して行われたか。 []
- (2) 18世紀ごろからあらわれた、^{といや} 問屋が織機や材料を百姓に貸し、^{とん} 布を織らせて、出来高に応じてお金を支払う生産方法を何というか。 []
- (3) 19世紀ごろからあらわれた、貧しい百姓を労働者としてやと、右のような作業場で分業によって生産を行う方法を何というか。 []
- (4) 各地の藩が発行した、各藩独自の^{しへい} 紙幣を何というか。 []



6 新しい学問と化政文化 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 本居宣長は「古事記伝」を著し、□を大成した。 []
- (2) 前野良沢と^{すぎたげんぱく} 杉田玄白らはオランダ語の^{かいぼう} 人体解剖書を翻訳して、□を出版した。 []
- (3) (2)の出版によってさかんになった新しい学問を□という。 []
- (4) 町人や百姓の子どもは、□で読み・書き・そろばんなどの実用的な知識を学んだ。 []
- (5) ^{はいかい} 俳諧(俳句)では、□が百姓の素朴な気持ちをよんだ。 []
- (6) □は、すぐれた風景画の^{にしきえ} 錦絵である「^{とうかいどう} 東海道五十三次」を描いた。 []
- (7) ^{じっぺんしやいっく} 十返舎一九は、こっけい本である「□」を著した。 []

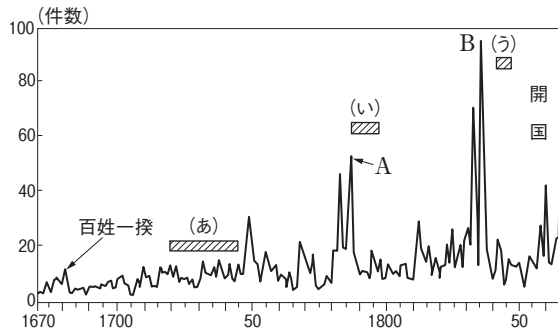
7 外国船の接近と天保の改革 次の問いに答えなさい。

- (1) 外国船が日本の沿岸に近づくようになったことに対し、幕府が1825年に出した法令を何というか。 []
- (2) (1)の政策を批判する書物を書いて^{しよぼつ} 処罰されたのは、^{たかのちやうえい} 高野長英とだれか。 []
- (3) もと^{まちぶぎやうしよ} 町奉行所の役人であった^{おおしおへいはちろう} 大塩平八郎が乱をおこした都市はどこか。 []
- (4) 老中となった^{みずのただくに} 水野忠邦が行った改革を何というか。 []
- (5) 水野忠邦は、(1)の法令を緩和した。これは、ある戦争で^{しん} 大国の清がイギリスに敗れたことを知ったからである。この戦争の名を答えなさい。 []
- (6) 水野忠邦が幕府の^{ちよかつ} 直轄領にしようとしたのは、大阪とどこの周辺か。 []

1 右のグラフは、江戸時代の百姓一揆の発生件数を表したものである。これを見て、次の問いに答えなさい。

(1) グラフ中のA・Bで、特に百姓一揆が多く発生しているのは、天災がつづいたために何がおこったからか。適切な語句を答えなさい。

(2) グラフ中の(あ)～(う)は、幕府の改革が行われた時期を示している。それぞれにあてはまるものを、I群とII群から1つずつ選び、記号で答えなさい。



I群…改革を行った人物

- ア 新井白石 イ 徳川吉宗 ウ 徳川綱吉
 エ 水野忠邦 オ 松平定信

II群…改革の内容

- ア 株仲間を解散し、物価の安定をはかった。
 イ 株仲間を奨励し、特権をあたえるかわりに税をとった。
 ウ 長崎貿易を制限し、金銀の流出を防いだ。
 エ 幕府の学問所で、朱子学以外の講義を禁じた。
 オ 目安箱を設置し、広く人々の意見を求めた。
 カ 長崎を唯一の貿易港と定めた。
 キ 長崎貿易では金銀を輸入するため、銅や海産物の輸出を奨励した。

(3) 右の史料は、(あ)の改革のときに、裁判の公正とすみやかな裁決を目的に裁判の基準をまとめた法令の一部である。この法令名を答えなさい。

わいろについて
 一、訴訟・願いごと・請負いなどについてわいろを出した者、仲立ちをした者は、軽い追放とする。
 (一部要約)

(4) (あ)と(い)の改革の間に、ある老中が大商人の財力を利用して幕府の収入を増やそうとしたが、天災があいつぎ百姓一揆が多発したことなどによりその地位を追われた。この老中の名を答えなさい。

(5) (う)の改革が行われる前の1837年、もと町奉行所の役人による乱がおこった。この乱をおこした人物の名を答えなさい。

(6) (あ)・(い)・(う)の改革は、当時の年号をとって「～の改革」とよばれている。あてはまる年号を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア 安政 イ 元禄 ウ 享保 エ 天保 オ 寛政 カ 文政

(7) 農村で百姓一揆がおこっていたころ、都市では貧しい人々が米の買い占めを行って米価をつり上げる商人などをおそうできごとがおこった。このことを何というか。

(1)		
	I 群	II 群
(あ)		
(2)		
(い)		
(う)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(あ)		
(い)		
(う)		
(7)		

2 江戸時代後期の文化について、右の史料を見て、次の問いに答えなさい。

(1) Aは、与謝蕪村の作品である。小林一茶も活躍した、五七五の形からなるこの文芸を何というか。

(2) Bは、Aと同じ形式だが、世の中を皮肉るものである。短歌の形式の狂歌とともに流行した、Bの文芸を何というか。

(3) Cは、杉田玄白が下線部の本を訳した際の苦勞を記したものである。彼が下線部の本を翻訳して出版した本を何というか。

(4) A～Cのころの学問や文化について、次の①・②の人物と関連の深いものをあとのア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 本居宣長 ② 葛飾北斎
 ア 奥の細道 イ 古事記伝 ウ 日本永代蔵
 エ 富嶽三十六景 オ 見返り美人図

A 葉の花や 月は東に 日は西に
 B 役人の 子にはぎにぎを よく覚え
 C 前野良沢の家に集まり、ターヘルアナトミアにいどんだが、…(略)…ちょっとした単語もちゃんと理解していないので、すこし分かる単語があっても前後がさっぱり分からない。…(略)…

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	①
	②

3 外国船の接近に関する次の史料を見て、あとの問いに答えなさい。

I

…(略)…、西洋の国々は日本で禁止されている邪教のキリスト教の国であるので、今後どこの海辺の村においても外国船が乗り寄せてきたならば、有無をいわずただちに打ち払い、…(略)…もし、無理に上陸したならば、捕らえ、または殺してもかまわない。…(略)…

II

…(略)…、今、外国が日本の漂流民をあわれんでわざわざ送り届けにきたものを、ただちに打ち払ってしまえば、日本は人を大切にしない、人道に反する国と思われてしまう。…(略)…、ただ、打ち払いを行うだけでも、日本は野蛮な国と思われてしまうかもしれない。…(略)…

(1) 18世紀の末ごろから、外国の船がひんばんに日本近海に現れるようになった。Iの史料は、1825年に幕府が出した法令である。Iの史料の法令の名を答えなさい。

(2) IIの史料は、Iの史料が出された後、実際に外国船の打ち払いを行ったことに対して書かれた書物の内容である。この書物の著者は、のちに渡辺崋山とともに幕府によって捕らえられた。この書物の著者の名を答えなさい。

(3) IIの史料の書物が出されたあと、アヘン戦争で清が敗北したことを知り、Iの史料の法令を緩和した老中を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 松平定信 イ 田沼意次 ウ 水野忠邦 エ 徳川吉宗

(4) 史料IとIIの間に、幕府のもと役人が乱をおこしたが、その場所を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 大阪 イ 長崎 ウ 京都 エ 江戸

3

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	